

### 第3回 西宮市総合計画審議会 議事概要

開催日時	平成30年6月1日（金）午前10時00分～11時41分
開催場所	西宮市職員会館1階 大会議室
出席者	新川委員、藤田委員、加藤委員、客野委員、徳久委員、藤井委員、水谷委員 小野委員、石田委員、根岸委員、水田委員、古塚委員、平野委員、樋口委員 羽田委員、椿本委員、川東委員、安東委員
欠席者	岡委員、倉石委員
事務局	石井市長、田村政策局長、清水政策局担当理事、楠本政策総括室長、 四條政策推進課長、岩田政策総括室参事
傍聴者	なし
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 新任委員紹介</li> <li>3. 市長あいさつ</li> <li>4. 市民アンケート・転出入等に関する資料について</li> <li>5. 第5次総合計画基本構想（原案）について</li> <li>6. その他</li> <li>7. 閉会</li> </ol>
資料	<p>資料1 市民アンケート調査における回答者属性について</p> <p>資料2 転出入の状況に関する資料</p> <p>資料3 他市における総合計画のキャッチフレーズ等について</p> <p>資料4 第5次西宮市総合計画 基本構想の構成について</p> <p>当日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市総合計画審議会 委員名簿（平成30年5月25日現在）</li> <li>・第2回西宮市総合計画審議会 議事概要</li> <li>・審議会における意見と事務局の回答・対応</li> </ul>

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長あいさつ</li> </ul>
	<p><b>2 新任委員紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任委員より自己紹介</li> </ul>
	<p><b>3 市長あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石井市長挨拶</li> </ul> <p><b>(会議成立の確認)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半数以上の委員出席を得て本会議が成立していることを確認</li> </ul>
会長	<p><b>4 市民アンケート・転出入等に関する資料について</b> (市民アンケート・転出入に関する資料等について事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会動態のデータは、2013年から2017年の変化を中心に、興味深い結果が出ている。将来どうなるかを合わせて考えていかなければならないが、今後の議論の参考にしていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年から2017年まで、大阪圏を中心に転出が増えている印象を受ける。</li> <li>・20代後半から30代くらいの子育て世代の転出が増えている。もし西宮が大阪よりも子育て環境のアピール力が落ちているのであれば、充分議論しないとイケない。もし魅力が落ちてきているのであれば、それをカバーするような仕組みが必要だ。強みのあるものをしっかりと議論しないとイケない。</li> </ul>
会長	<p><b>5 第5次総合計画基本構想（原案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の審議会では、基本構想に都市像、ないしはキャッチフレーズを設けるべきではないかという意見があった。キャッチフレーズを設けると基本構想の位置づけも変わってくるため、全体の構成とあわせてご意見をいただきたい。</li> <li>・この点が決まれば基本構想の形ができてくると思う。キャッチフレーズと基本構想の筋立てについて決めることを本日の到達目標としたい。</li> </ul> <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、事務局からキャッチフレーズの論点整理をお願いしたい。</li> </ul> <p>(事務局から、他市におけるキャッチフレーズの事例について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様には、西宮市にふさわしいキャッチフレーズと、キャッチフレーズが西宮市の総合計画に必要なのかを考えていただきたい。</li> <li>・まずは、どのようなキャッチフレーズが総合計画と、将来の西宮市のまちづくりに向けてふさわしいのか、ご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員として他の会議へ出ているが、子育ての支援内容については、兵庫</li> </ul>

委員	<p>県下のどの市町村でもあまり変わらない印象を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市は、非常に環境が良いのが特徴だ。緑が多く、子どもが伸びやかに育つ環境がある。</li> <li>・「非常に緑が多い」ことと、「文教住宅都市西宮」という今までのキャッチフレーズは、外せないと思う。これらはまちづくりを考えたときに、非常に大切なもので、他の市町村にも誇れるものだ。</li> <li>・その上に「創造」とか、「未来への輝き」という言葉は入れるにしても、このような基本的なところは譲れない。</li> <li>・会合や活動などでは、最近は依存志向の若者が多い。西宮をこれから自分たちの手で作り上げ、盛り上げていく中で、子どもの環境や生活の向上を見いだせるような、画期的な新しい目標を持つことが必要だと考える。</li> <li>・子育てのことについては依存志向を払拭し、人を育てる、お互いに支え合う西宮になってほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教住宅都市」という単語は非常に大切。それに加えて、イメージが湧くように、例えば「実感 共に生きるまち」とか「共に生きたいまち 文教住宅都市西宮」のようなシンプルなものが良いのではないか。</li> <li>・プライバシーや個人情報が守られた上で、共に生きていきたい、生きていくというシステムがある西宮が望ましい。</li> <li>・若い方、壮年、老年の方々も実感できるようなイメージで書いていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年文化振興に関わっているが、「文教住宅都市」を市民に広報できたり、あるいは市民が意識できるキャッチフレーズが望ましい。それが、市民にアピールできるキャッチフレーズではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次総合計画の抜けている面を補いつつ、良い面を更に良くする観点からは、今までの延長線上で考えなければならない。新たに設けるよりは分かりやすい、今まで使っているものを再度市民にPRすることが大切で、「文教住宅都市西宮」、「感動」というのは、キャッチフレーズとして生かすべきだ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がつくる西宮ということで、「市民」や「人々」という単語を入れて皆でつくっているという意識をもっと高めていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いまは幼児からお年寄りまで、小学校単位で様々な種目のスポーツが簡単にできるような体制になっている。いつでも簡単にスポーツができることが、想像できるキャッチフレーズにできないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市は、「文教住宅都市」・「平和非核都市」・「環境学習都市」と、都市の性格を宣言というかたちで明確に言っている。</li> <li>・その中で、「文教住宅都市」については、教育正常化運動やPTAの改革などを行い、社会教育の面では公民館を中学校区に1館づくり、日本一の社会教育施設体制といわれた時代があった。しかし、今、文教住宅都市の施策が行われているのか。実態が備わっていないと感じる。西宮市が文教住宅都市であるかどうかは、今後議論する必要があるだろう。</li> <li>・キャッチフレーズには文教住宅都市という言葉を使いたいが、主役、主体は</li> </ul>

委員	<p>誰かということキャッチフレーズに盛り込みたい。それが市民なのか地域の人なのかは分からないが、市民が主体の文教住宅都市、というイメージをもったキャッチフレーズが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市港区では、小学校の開いた教室で交流できる場が設けられ、幼稚園の園庭開放があり、お金をかけずにいろいろなことができた。図書館もビデオ貸し出しがあり、非常に便利であった。</li> <li>・「文教住宅都市」であり、会社までドア・トゥ・ドアで1時間であり西宮市に引っ越してきたが、図書館のビデオが借りられなかったり、園庭開放も別枠だったり、思った割には開けていない印象だ。</li> <li>・住民の皆さんの意識は非常に高く、良い人が多い印象を受け、来てよかったと思う。今後の期待をも込めて、キャッチフレーズに「開かれた」、こののを入れて欲しい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3では、「文教住宅都市」というフレーズは他市では見当たらない。</li> <li>・このフレーズは、西宮市民には定着していると思う。近隣の友人に聞いたところ、文教都市というイメージを持っている人が非常に多いと思う。皆さんと同様に基本として「文教住宅都市」というフレーズは外せず、これにどのような尾ひれを付けていくかを議論すべきだ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3に載っている63のキャッチフレーズを見ると、地名が入っていないキャッチフレーズは8つしかない。「西宮」という地名を入れるのが良いのではないか。</li> <li>・5つキャッチフレーズを考えた。全国のえべっさんの総本社があるので、「えびす顔のまち西宮」。二つ目は「心地よいまち西宮」。三つ目は、文教住宅都市に「成熟した」を付けて「成熟した文教住宅都市西宮」。私はみやたんを表紙につけてほしいと要望として挙げていたが、それをイメージして「みんな生き生き、未来にわくわく西宮」を四つ目に考えた。最後の五つ目は、「住み続けたいまち西宮」を考えた。</li> <li>・「開かれた」というキーワードは市長の方針ともマッチしていると思うので、良いのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地名が付いていないと、どこの自治体のキャッチフレーズかが分からない。例えば伊丹市の「みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる伊丹」は抽象的で漠然としている。「文教住宅都市」と宣言し、掲げている西宮は非常にユニークだ。例えば沖縄は「国際文化観光都市」であり、分かりやすいので、市民も納得するだろう。ユニークさに加え分かりやすさを入れた、市民も一緒になって向かっていくようなキャッチフレーズが良いのではないか。</li> <li>・私は2016年から西宮市に住んでいるが、住んでみるとギャップがあった。西宮市は他市に住んでいる人から見ると、非常に良いイメージで住みたいまちナンバーワンといわれているのに、住んでからのギャップがあるのは、損をしていると思う。</li> <li>・「文教住宅都市」という宣言をして、掲げ続けている大きな未来像は、非常に良いと思う。ただし、現状はギャップがある。今の時代、主役である市民の</li> </ul>

委員	<p>動向、トレンドとしては、自分ごとになることに対して非常に興味を持っており、とっつきやすい。だから、市民が自分ごとに関われるような言葉を使えば良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教住宅都市」は大賛成だ。</li> <li>・私の印象では、西宮市は高齢者の市民層の方の地域をつくる基盤がしっかりしていて、分厚いものがひとつあるものの、世帯の流動から分かるように、若い層が来ては去るといふ、固い地盤の上に水がさらさらと流れるような二重構造をイメージする。この両者の融合が、地域づくりに向けて非常に必要なことだ。</li> <li>・その固い地盤の上に、障害福祉が、市民、当事者、事業所、行政も含めて非常に高いレベルで取組みを行っていた。また、地域の多様性を認めていく文化も一定程度根付いていた。</li> <li>・また、環境政策が、子どもと兼ね合わせたことで熱心だという利点がある。そこの財産に加えて、教育や子育て、若い人の地域参加ができるイメージのキャッチフレーズが良い。</li> <li>・西宮のみならず、全国的に単身化が進んで、孤立化の不安も大きくなっていく。皆で新しいつながりをつくっていくような市民自治についても、キャッチフレーズで言及できれば良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文教住宅都市」という単語を入れることは良いことだと思う。</li> <li>・これまでの行政計画は、行政が主語になっていたが、これからは主語を市民に変えなければいけない。</li> <li>・団体に活動されている方は、参加についてうまく煽れないという状況の中で、孤立化の問題もある。</li> <li>・これを克服するためには、今こそ「であい・ふれあい・わかちあい」という単語が重要ではないか。</li> <li>・例えば、皆で、もしくは市民が「みんなでわかちあい共につくる文教都市西宮」のような感じで、主役は市民であるというアピールがあった方が良い。だからこそ、協力し、一緒に取り組むというフレーズが出るような感じで検討されるのが良いのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズは「文教住宅都市」が良いと思う。</li> <li>・この辺りは阪神間と呼ばれ、阪神間モダニズムというものが大正から昭和初期にかけて花開き、新しい文化や、今まで誰もやってこなかったものがつくり出されたり、海外から入ってくるようなわくわくするまちだった。</li> <li>・その貯金を我々現代人が使いながらまちづくりをしてきた。最近では阪神間モダニズムというのも言われなくなったが、もう一度、新しい文化や今まででなかったものを創造して発信できるようなまちになればよいと思うので、「文」という言葉があるのは非常に良い。</li> <li>・我々市民が生きていく中でここは文教住宅都市であるということ意識して生きていくことが重要だ。市の職員が個々の事業や計画をつくる時に、ここは文教住宅都市であるということ意識しながら計画されることによって、そ</li> </ul>

委員	<p>の積み重ねが市として全体の大きな流れを紡ぎ出していくと思う。そういった意味でも、キャッチフレーズは今まで使ってきた言葉のある程度、継続して使っていく方が良いだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は神戸市に住んでいるが、皆さんが文教住宅都市、文教ということに非常に誇りを持っているため、ほぼ全員の方が共通した自市への誇りを持っていることはとても羨ましい。</li> <li>・文教住宅都市という言葉は、我々の言葉ではストックと言っている。資料3の他市のスローガンでは、「輝く」や「ふれあう」とか、動きを象徴的な言葉として示しているものが多い。</li> <li>・昔から文教住宅都市という言葉を使っていることは、それほど誇りを持っていることだと思う。オープンな、開かれた文教住宅都市をいう意見があったが、文教住宅都市の中身や、新しい展開をしているということを見せられる言葉があると良い。そうすれば、単にストックを誇っているということではなく、進化しているということを見せられるのではないか。</li> <li>・昭和30年代は、都市において住むことと働くことは両立せず、どちらかと言えば産業は住宅から離れて、迷惑を掛けないところで、というイメージが強かった。そういう意味で文教住宅都市宣言は西宮らしいが、現代では産業と経済、ビジネスは住むことと一体化されている。</li> <li>・文教住宅都市という言葉が、産業と経済を排除するイメージで使われるとあまり良くないだろう。</li> <li>・色々な意味で先端を走っている西宮市なので、文教住宅都市の変化の中で、経済的なメカニズムを組み込んでいくという意気込みが欲しい。例えば、先日新聞社から表彰された「NPO法人 プレーンヒューマニティー」での、関学の学生の活動は、明らかな社会ビジネスだ。</li> <li>・教育とビジネスが、学生の目線で融合を始めているような領域でも、これもまた西宮が日本に誇る活動の一つだと思う。いろいろなところで新しい変化が起きている。そういう意味で、何か動きを示されるような言葉がキャッチフレーズにあると良い。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市は今年市政93年で、昭和38年に文教住宅都市宣言をした。これは、当時工業都市を目指すのか環境重視でいくのかという議論があり、文教住宅都市を選択し、一つのまちづくりの大きな基本方針として、西宮は発展していくということを宣言した。</li> <li>・その後、昭和58年に平和非核都市宣言をして、平成15年に環境学習都市宣言をした。これらを並べてみると、同じ都市宣言と言いながら、ひときわ目立っているのが文教住宅都市だと思う。これは、市民が認知し、守り、そして育ててきた結果ではないかと思っている。</li> <li>・時代によって住宅都市の中身や施策、事業も変わってきているとは思いますが、基本の文教住宅都市を守っていこうということは変わらない。西宮も人口の入れ替わりが激しいが、そこは変わらない、普遍的な価値になっていると思う。</li> <li>・キャッチフレーズは必要で、それに文教住宅都市西宮ということは外せない</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮は工業都市ではなかったため、尼崎市のようなことにならず、大きなものを得た。産業面でも、西宮には西宮らしい産業がずっと続くことになったのだと考える。</li> <li>・阪神間でこれほど海浜が残っている地域は西宮だけで、芦屋に少しあるものの、あとは須磨まで行かなければならない。自然環境を大切にしながら、産業の発展についても折り合いをつけてきた。この点についてはキャッチフレーズへ盛り込んで欲しい。</li> <li>・文教住宅都市西宮は外せないということによろしいか。</li> <li>・そして、これに未来に向けて少し動きのある言葉を付けたいという意見があった。皆で、この西宮をこれから一緒につくっていくのだという観点で、市民や人々を主語にするという意見もあった。自治や自主、自律の観点では、支え合いという単語を入れたらどうかという意見も重要な要素だ。</li> <li>・未来に関して言えば、具体的な福祉の問題や、学習や子育て、産業や経済、さらには環境の問題について言及があった。こうしたところにも少し思いが至るようなキャッチフレーズにならないかという意見があった。</li> <li>・全部を入れると、1 ページぐらいの文章になるため、なかなか難しい。未来を切り開いていくイメージで、これまでの歴史も踏まえながら、新しい文教住宅都市西宮を、市民皆でつくっていく。そんなことを標語にできればと思っている。</li> <li>・この場ですぐにまとめるのは難しいと思うので、事務局に少し知恵を絞ってもらいたいと思う。もうキャッチフレーズは要らないという方はおられないか。</li> </ul> <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズについては、皆意見がおありかと思うが、皆で一緒につくっていくということで、キャッチフレーズは必要ということによろしいか。</li> </ul> <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズをまずはつくるということとなった。また、この後もキャッチフレーズについては意見をいただければと思うが、本審議会のここまでのご意見、今後頂くご意見を踏まえて、事務局でキャッチフレーズのご意見をまとめていただくという方針によろしいか。</li> </ul> <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、本審議会として、先ほどいくつか出た重要な要素を、キャッチフレーズのかたちで、今後に向けて事務局で取りまとめ、ご提案していただきたい。</li> <li>・基本構想の構成について、キャッチフレーズが入ることを前提にして、どのような基本構想の構成を考えていくのか、事務局から論点整理をお願いして、ご意見をいただきたい。</li> </ul> <p>(事務局より基本構想の構成について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の諮問原案であった、序論のあとに将来像という構成ではない修正の試</li> </ul>
-----------	---

委員	<p>案をいただいた。それは、総合計画というのはどういうものかという、性格付けを言及し、その後すぐ将来像が来て、その最初にキャッチフレーズとして入って、少しその解説が入って、その中で、まちや人の姿を書くというものだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このような位置づけで良いのかということについて、ご意見をいただきたい。</li> <li>これからの将来について変わっていくということは誰もが思っていることだ。だから、将来を先にうたって、それから現実に戻していく方が、非常に読み方としては読みやすいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私はコミュニティ協会で『宮っ子』をつくっているため、たくさんの人に見てもらおうと思うときに大きなものを出さないと見てもらえない。手法としては、最初に出して、疑問をもってもらう方が広報的には良いと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>原案では、将来像が最後に出てきているため、インパクトが弱い。今回提示された構成の方が原案より良いと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>修正案ではソフト面が前に出て、ハード面が最後にまとまっているため、非常に分かりやすい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画は総合的に考えるものなので、ビジョンを打ち出す際には総合的な姿をまず出さなければならない。また、基本計画が縦割りであってはならない。だから、基本計画の交わる部分を、この将来のビジョンのページに基づいて、どう処理するかということが逆に問われてくる。その点が非常に重要であるので、その点を付けて、修正案に賛成したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の面で例えるならば、ソーシャルビジネスのイメージだ。これからの地域づくりは地域の仕事づくりも合わせて地域内循環をする必要がある。このことと福祉は大きく重なる要素があり、また、これらは福祉3計画の全て交わる場所でもある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>試案に賛成だ。キャッチフレーズについて、皆さんがおっしゃっていた環境にやさしいとか、緑とか、新しい産業のあり方については、入りきらなかった場合、「まちや人の姿」へ落とし込むことができないだろうか。</li> <li>計画をどのように機能させるかということについても、「まちや人の姿」へ入れ込んだ方が、縦割りではないことがアピールできて良いのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの都市宣言について、文教住宅都市宣言以外のものはあまり記述されていない印象を受ける。どこかへ入れ込んだ方が良いのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来像の中身の書き方については、少し、今の意見を踏まえて事務局で工夫していただくと、もっと充実したものになるだろう。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来像は、おそらく2030年ごろをイメージして書かれているのだろう。その先もあって、超長期のビジョンがあって、手前の話があって、ごく短期のものがあるという、若干階層的な構造が出てくるのだと思う。先ほど市長が2050年とおっしゃっていた。そこまで議論するのは私たちの管轄かどうかは分からないが、遠い将来も見据えて、だから手前はこうする、という見方もあるのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチフレーズは一応10年間だが、その先に繋がっていくような、要素もぜひ考えていきたい。</li> </ul>



委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想なので抽象度が高くなると思うが、今政策に移行していくときに問題になっているのは縦割りの非効率さだ。最近の政策論では、コーディネーション型の仕組みづくりとか政策ということがよく言われていて、単に行政の縦割りだけではなく、市民のセクターやビジネスとの連携とのコーディネーションという話がある。</li> <li>・私は兵庫県のビジョンもお手伝いしているが、国、県、そして市の、いわば行政間のコーディネーションをどうしていくのかというようなことも、どこかに、構想の中で考えていく必要があるだろう。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、サービスも、社会のさまざまな活動、政策や法律も、常に縦割りと横割りが、あらゆるものを分けて議論をしようという方向にあるが、もう一方で、市民生活は細かく分けられているわけでも何でもなし。そういうところをしっかりと踏まえて全方位で考えていかなければならない。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正案の方が良いと思うが、「1 西宮市総合計画とは」の次に「2 将来像」が来ることは本当に分かりやすいのか。</li> <li>・総合計画とは何かという説明をしながら、例えば今の時代認識と西宮の現状、課題を踏まえて、将来はどうあるべきかを記す。そして、将来はどうあるべきかと最後に記すという流れも悪くはない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試案の方が将来像を最初に出すため、良いのではないかと意見があった。多くの方に基本構想の意義を受け止めていただき、総合計画全体について将来像を通じてひとつに総合していくということで大切なのではないかと意見をいただいた。</li> <li>・いろいろなご意見をいただいたが、全体の構成については、細かい順番は置いておいて、事務局から頂いた将来像を前に置くという試案で進めていきたいと思うが、よろしいか。 (異議なし)</li> <li>・少し細かい位置づけや文章の組み換え等は、事務局で一度ご検討していただき、基本計画が一定まとまり、最終的に基本構想を合わせてとりまとめなければならない段階で、皆様方にお示しいたいただき、取りまとめたい。</li> <li>・ここまで、基本構想の大きな流れと文についてご意見をいただいた。将来像のキャッチフレーズをきちんと出していくことと、その将来像については市民が一緒につくることをはっきりとさせた。</li> <li>・そして、市民生活に関わるさまざまな側面で未来を切り開いていく。そういう言葉を添えたものを、これまでの西宮の歴史や伝統、文化、その基盤を引き継いで未来の西宮をつくっていく。そういう文教住宅都市西宮にしていく。このようなキャッチフレーズについても、具体的には事務局に知恵を絞っていただきたい。</li> <li>・基本構想の構成については、何々な文教住宅都市西宮というのを、まずは最初に大きく掲げる。そして、理由の解説が入り、さらには、その中で将来のまちや人の姿、そして、この基本構想が目指している総合的な要素も入れてはという意見をいただいた。この辺りを加味した基本構想の構成を、もう一度事務</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>局の方で再編成していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の中で市長から、ご自身の考え方について発言があった。行政計画なので、私は、むしろ当然のことだと思うが、総合計画へ市長の意見を反映させる場合、どの時点で審議会へ説明があるのか。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長には、この総合計画と基本構想の枠組みについては納得していただけたと理解している。</li> <li>・ただし、福祉や子育て、環境、市民の自治といった分野については市長も重点にしていきたいという気持ちがあるのだろう。また、総合計画の10年間だけではなく、もう1世代先の未来を考えていきたいという話もあった。私たちも、やや長い先を見通しながら内容を詰めていきたい。</li> <li>・まちや人の姿のところでは、環境や福祉の問題が大きく入ってくる。ここについては、おそらく市長のお気持ちも、今後もう少し具体的な言葉ではね返ってくるかもしれない。そういうものも、受け止めながら、最終的に当審議会として考えたい。</li> <li>・今日の段階では、そういう要素も受け入れていく余地があるというぐらいのご了解でよいのではないかと思っているが、いかがか。</li> </ul>
<p>委員 会長 委員 会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局とのお話し合いをしていただいたものをこちらに返すということか。</li> <li>・その通りだ。</li> <li>・審議会で議論するため、説明は必要だと考える。</li> <li>・その点については、事務局で対応をお願いしたいが、よろしいか。 (異議なし)</li> <li>・他にご意見はないようなので、本日の会議については以上にさせていただきます。</li> </ul> <p><b>6 その他</b> (次回開催日程について連絡 日時：7月18日(水)午後6時～ 場所：市役所東館8階大ホール)</p> <p><b>7 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以 上</p>